

ふるさと歴史散歩 226

~松前史談会レポート~

JR 北伊予駅界隈えとこめぐり I

JR 松山駅付近の鉄道高架化工事が今年秋に完成予定である。高架化事業ですでに北伊予駅に待避用の3番線が追加され、線路をまたぐ自由通路(べんてんばし)が設置されている。

今回は JR 北伊予駅からスタートし、まずは駅西側の神崎墓地にある禪正軒庵へ。ここは禪宗の寺院(本尊薬師如来)で寛文元(1661)年ころの造立とされるが、檀家はない。この寺院には興味深い伝説がある。

慶長5(1600)年の関ヶ原の戦いで松前城主加藤嘉明が東軍として戦っていた時、西軍についた長州(現:山口県)の毛利輝元の部下が、加藤嘉明の留守を狙つて松前城を攻めため三津に上陸した。留守部隊の加藤嘉明の重臣佃十成らが迎え撃ち、加藤軍が次々と勝利を収める中、西軍の敗北を聞いた毛利軍は引き揚げることとなった。「伊予の関ヶ原・刈屋口の戦い」といわれている。

この戦いで毛利方にいた河野家の家臣で地頭の平若左近は、出作の音地やぶで討ち死にしたという。

3月の歴史散歩は実施しません。



【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

1月17日、高齢者大学で人権学習講座を行ない、60人が参加しました。

講師は、中学校の音楽指導で実績のある松前町人権対策協議会教育啓発部長の本馬祐子先生。「童謡や子守歌に込められた想い」と題して行われた講演では、「七つの子」「竹田の子守唄」のピアノ演奏と歌で、この歌の中にある、人々が苦しみを乗り越え生きるたくましい姿を表現していました。

参加者は、子どもの頃に戻った気持ちで、先生と一緒に歌ったり、笑ったり、涙を浮かべたり。心も揺さぶられ、大いに盛り上がり、改めて人権の大切さにも気付くことができた有意義な時間になりました。



毎月順番に活動内容をお届け!

高齢者大学人権学習講座



⑤会場内にきれいな声が響き渡る
⑥参加者に優しく語りかける本馬先生

3月11日(月)～20日(水・祝) 特別整理による休館

年に一度の特別整理のため、上記期間中図書館を休館します。

この期間中に、図書館にある全ての資料が正しい場所にあるか、なくなっている資料がないなどを点検し、整理します。皆さんが快適に利用できるよう、ご理解とご協力をお願いします。



◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶ぎんなみ商店

街の事件簿
井上真偽・著
小学館

▶君が手にする

はずだった黄
金について
小川哲・著
新潮社

▶成瀬は信じた 道をいく

宮島未奈・著
新潮社

古き良き商店街

で起きた三つの事件。解明に挑むのは、商店街に暮らす4兄弟と3姉妹。二つの侧面から展開する事件は、全く違う真実へと。Brother編・Sister編どちらからでも楽しめる

著者自身をほう

ふつとさせる「僕」が怪しげな人物たちと遭遇する六つの連作短編集。彼らはどこまでうそをついているのか、うそを物語にしている「僕」は彼らと何が違うのか。本屋大賞ノミネート作品

▶「推し」で心は みたされる?

熊代亨・著
大和書房

▶犬がそばにい てくれたから

三浦健太・著
主婦の友社

2010年代から急速に使われるようになった「推し」についての書籍なぜ人は「推し」にはまるのか。「推し」が個人で完結せず、社会的影響を伴う点に着目し、承認欲求やナルシズムについて考察する

老いやく犬と暮らした日々を描く、実話を元にしたストーリー。愛犬を亡したことのある人も、今老犬と暮らしている人も、いつか来るその日のために、愛犬とかけがえのない幸せな日々を過ごすための本

▶ぜんぶわかる! ひとり暮らしの教科書

河野真希・監修
宝島社

▶ひとり暮らしの教科書

河野真希・監修
宝島社

▶一生役に立つ!

河野真希・監修
宝島社



▶ぜんぶわかる! ひとり暮らしの教科書

河野真希・監修
宝島社

▶ひとり暮らしの教科書

河野真希・監修
宝島社

▶一生役に立つ!

河野真希・監修
宝島社